

みどりの風

CONTENTS

鹿児島県 医師会長賞 看護業務功労表彰

新入職員紹介／南隅地域の医療介護のシンポジウム
鹿児島大学地域枠医学生実習
秋に食べたい今日の一皿（レシピ紹介）
ソフトボール／追悼／みなみかぜ便り

2019
秋号

2019年90号

黒川温泉（熊本県南小国町）の紅葉
撮影者：3階病棟 牧原めい子

病院理念

地域住民の健康管理のために
地域医療の質と医療人の質の
たゆまぬ向上を目指す。

基本方針

- 一、医療・保健・介護・福祉・行政機関相互の連携を図り、
地域住民に信頼される病院を目指します。
- 一、職員一人ひとりが経営意識を持って、安心・安全な
医療を提供し、経営改善に努めます。
- 一、医療人としての責任と使命を自覚し、常に自己啓発に
努めます。
- 一、多職種協働による、チーム医療と組織横断的活動を
推進します。

患者さまの権利

1. 患者さまは、一人の人間として尊重され、平等に安全で適切な
医療を受ける権利があります。
2. 患者さまは、十分な説明と情報提供を受けたうえで、
治療方法などをご自身の意思で選択する権利があります。
3. 患者さまは、個人情報の秘密が守られ、プライバシーが
保護される権利があります。
4. 患者さまは、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

患者さまの責務

1. 患者さまは、ご自身の健康状態に関する情報をできるだけ
正確に医療提供者へ伝える責務があります。
2. 患者さまは、医療関係者と合意した検査や治療方針に対し、
意欲を持って取り組む責務があります。
3. 患者さまは、他の患者さまが快適な環境で医療を受けられるよう、
病院や社会生活上のルールやマナーを守る責務があります。
4. 患者さまは、検査や治療のために必要な医療費を負担する
責務があります。

鹿児島県 医師会長賞 看護業務 功労表彰

鹿児島県医師会長賞看護業務功労者表彰が鹿児島市内で行われ、病院・老健みなみかぜから5名の看護師が表彰を受けました。表彰資格は鹿児島県内の会員医療機関において25年以上の看護業務に付き、顕著な功績があつた方が受ける表彰です。表彰者よりコメントを頂きましたので、ここに紹介いたします。

4階病棟 徳重 真由美

この度、看護業務功労賞を頂きありがとうございました。
看護業務に携わって30年になりますが、様々な診療科の看護を経験させて頂きました。それと同時に30年を振り返る良い機会となりました。

今まで働き続けられたことは、多くの人の出会いや支えがあったからだと感謝しています。年齢を重ね身体的衰えと両親の介護も重なり、パート勤務ではありますが、今でも周りの方々に支えて頂きながら一緒に働くことに感謝する日々です。

これからも残り少ない時間を自分なりに頑張っていこうと思いますのでよろしくお願いします。

2階病棟 切通 千枝子

このたび、看護業務功労者として県医師会長賞をいただきありがとうございました。これまで色々な経験をさせて頂いた中で、失敗も数知れなく、涙して辞めようと何度も思つたことなどありました。もちろん楽しい事もたくさん経験し、たくさんの人に出会いました。そして学ぶこともたくさんありました。今まで私を支えてくださった周りの方々には感謝しかありません。身体がきつくて倒れそうと感じるだけで、まだ一度も倒れたことはありませんが、体も頭もだいぶ弱ってきてます。もう少し皆様と共に頑張ろうと思っていますので、これからもどうかお手柔らかによろしくお願い致します。

3階病棟 大田 すず子

この度は思いもよらぬ看護業務功労表彰に推薦して頂いた上に受賞までさせていただきました。

長年この仕事をしてまいりましたが、肝属郡医師会立病院に勤務させていただき、まだ5年間の勤務年数にもかかわらず、名誉な賞をいただいて今でも「なぜ私が。」と思っています。今まで看護師になり辛かったこと、楽しかったこと、たくさんありましたが元気で続けてこられてよかったです。

入職した時に一番困った事は、電子カルテでなかなかスムーズにパソコンを使えなかったことでした。これでは仕事を続けていくことはできないと思い、何度もスタッフに教えてもらいました。「感謝」の一言に尽きます。私が今あるのは、病院の皆様にやさしく指導して頂いたおかげだと思っています。

これからも初心を忘れず、可能な限り頑張っていきたいと思います。

3階病棟

今別府 幸江

この度、看護業務功労の表彰
の機会を与えていただきありがとうございました。

看護師になって准看時代から39年になろうとしています。肝属郡医師会立病院へ昭和56年に入職してから11年間、再就職し平成20年から今年で11年目になります。子供の学校や親の介護を理由に病院から一度は離れましたが、その間も特老、役場での検診、予防注射の介助、検診車での介助など常に看護業務をやっていたなーと思っていますこの頃です。

私にはターニングポイントがいくつかあり、肝属郡医師会立病院との出会いがそのうちの一つです。鹿児島市内の病院を辞めていったん家に帰り、両親に県外に出たいと言うと、一度は反対されましたが、いざ、出てもいいよと言われた時の両親の顔を見ると県外に出ることが出来ず、当時開院したこの病院に入職しました。

入職してから結婚、出産し子育てしながら夜勤の曜日調整をしてもらい、再就職してからも学校行事等で勤務調整してもらうなど恵まれた環境にいることを実感しています。現在還暦を目前に月2回の夜勤で看護業務を継続中です。

2階病棟

小川 民子

この度は、受賞を頂くような身分ではないのですが、看護業務功労賞をいただきありがとうございました。振り返れば医療従事者として携わること30数年、そして今年還暦を迎え、改めて凄まじさを感じる今日この頃です。

さて、私が看護師になったきっかけというのは、中学3年生の三者面談で担任の先生から「看護師にならんか」の一言でした。自分としては全く予想もしていなかったのですが、今でも記憶しております。それからあれよこれよと数年が経ち、当医師会立病院に昭和57年に入職し、約8年間お世話になりました。その間結婚、そして3人の子宝に恵まれ、子育ての為退職、またまたあれよこれよで再入職して10年を超える現在に至っております。

当時、電子カルテが導入されることも知らず、日々の業務、毎日悪戦苦闘の連続でした。スタッフの方々に迷惑をかけたり励まされたり、支えられたことにより今があると心から感謝しております。そして自分自身、健康でこれまで働いてきたことに誇りを持ちたいと思います。そして悔いが残らないように、もう少し頑張って勤めていきたいと思います。



南隅地域の 医療介護の姿シンポジウム

南隅地域における医療介護のこれからと、
肝属郡医師会立病院があるべき姿についてシンポジウムを開催しました。



はじめに

基調講演「住民とともに創る地域医療提供体制について」と題し、城西大学経営学部マネジメント総合学科教授伊関友伸先生よりご講演頂きました。

伊関先生の講演では「地域の病院をめぐって何が起きているのか?」「病院がなくなれば」「医師会立病院は錦江町・南大隅町にとってなくてはならない施設」「公設民営による自治体立病院化を図り経営を支えてはどうか」など多くのご意見を頂き、錦江町及び南大隅町における医療の在り方や今後のあるべき姿についてヒントを頂きました。また医療や介護施設は地域経済への効果も大きく、ひいては人口流出にも影響を与えることを考慮すると当院をはじめとする地域の医療機関や介護施設が置かれている状況は重要と考えます。

パネルディスカッション

【コーディネーター】

地域医療振興協会地域医療研究所シニアアドバイザー 宇田 英典 先生

【パネリスト】

城西大学経営学部マネジメント総合学科教授 伊関 友伸 先生

南日本ヘルスリサーチラボ代表 森田 洋之 先生

南大隅町立佐多診療所長 福田 弘志 先生

肝属郡医師会立病院管理担当副院長 西田 順爾 先生

後半は、パネルディスカッション「三方良しの地域医療・介護制度の在り方について」と題し、先生方の立場より地域の現状や今後の課題について発表がありました。

当院、西田医師からは「錦江町・南大隅町の医療資源」「南隅地域における自宅及び特養施設看取り件数」「建物・付属施設の老朽化への対応」「新病院が果たすべき役割」など当院が果たしている役割や医療提供体制について報告頂きました。地域のかかりつけ医との連携を密にすることで、地域完結型の医療を目指し、当院の能力を超える症例については、その他地域の医療機関と連携し最善の医療を展開出来ればと話されました。

令和元年度 鹿児島大学 地域枠医学生実習

8月15日～16日、8月26日～30日の2回に分けて計3名の学生さんが当院に実習に来られました。

【8月15日～16日】 山之口 果歩さん(3年生)

目的:地域医療に関する地域の課題について関心を持ち、自ら選択した研究課題の調査研究を通じ地域の理解を深める。

【8月26日～30日】 山内 義大さん／渡邊 一太さん(1年生)

目的:べき地医療の現場を体験し、地域医療のロールモデルの1つとして地域医療体制と現場における医師の役割を学習すること。

当日は錦江町地域包括ケア会議や診療所研修、当院内での外来実習を学んで頂きました。夜は懇親会を開き親交を深めました。

将来ともに働ける日がくることを楽しみにお待ちしています。

アンケート結果

地域住民、医療介護職による261名のアンケート結果の一部を紹介します。

- 伊関先生やパネリストの先生方の話がわかりやすかった。南隅地区の状況がわかり、医師会立病院はぜひひとつづけてほしい。頑張っている先生方に感謝です。
 - 参加できてよかったです。現在、78歳の癌末期の父の介護で悩んでいましたが、何か力をもらえました。わからないけど涙ができました。ありがとうございました。こんないい話をもっと多くの人に聞いてもらいたかったです。
 - 医師会立病院は絶対に存続してほしいです。今後もこのようなディスカッション機会をどしどし作って頂きたいです。大事なことです。ミニ○○会というのもいいと思います。
 - 医療は必要。住民ひとりひとりの考え方方が大切!すみなれた地域でくらしたい。今のある制度や資源にたよりすぎる住民の考え。三方各々の現状を知りつつ、互いにできる所を考えてい行く必要あり。
 - この地域の医療は先が見えなくなっている時点で境界が来ていると思います。医療側は毎日痛みを感じている。この状況を開拓するには行政が主導となり、医療の負担を減らすべく予防、ケアを充実していく必要があると考えます。そして町民も健康に対する意識を変え、薬に頼らず生活習慣の見直しがなされるように願っています。
- など、多くのご意見を頂きました。
- ご回答、貴重なご意見をどうもありがとうございました。

今後の展開

平成28年に施設再整備に向けた基本構想策定委員会を設置し、平成29年3月に基本構想を策定しました。平成30年1月に当医師会より、医師会単独での整備は困難であり、錦江町・南大隅町の両町での整備で、その後の運営を当医師会が受託する公設民営方式をお願いする旨の移転建替えに関する要望書を提出し、受理されました。その後、両町、肝属の三師会、鹿児島大学や県関係部署、住民代表などにより構成された検討委員会が発足し、昨年は2回の委員会と住民座談会や病院見学会などが開催されました。

新たな病院の診療機能・規模ですが、診療科は、基本的に現状を維持し、内科系は、現在非常勤のみとなっている診療科の常勤体制を目指します。病床規模・機能は、130床程度で、急性期から慢性期までのケアミックス型を維持し、必要に応じ地域包括ケア病床を整備、増やすこととしております。

この南隅地域の置かれた地理的環境、高齢化などの医療環境を考慮すると、当院の救急医療、専門医療、へき地医療および入院施設として担う役割は大きく、今後も当院が地域医療の中核施設として各施設間との連携を密にし、地域住民の医療・保健・福祉にわたる幅広い健康管理に貢献することが当院の果たすべき役割と考えております。

今回のシンポジウムに参加された方々は満足していただけたようで、アンケート結果につきましても真摯に受け止め今後の参考にしたいと考えております。関係者の方々、お忙しい中ご協力頂き、ありがとうございました。





カラダにおいしい! 季節のレシピをご紹介

秋に食べたい今日の一皿

RECIPE

【 ほっこり和風シチュー 】

冷たい秋風が心にもしみわたる季節を迎えました。

今回は、そんな季節にピッタリの心温まる「ほっこり和風シチュー」をご紹介します。

この季節になると何度も作りたくなる&食べたくなるレシピです。

豆乳を使用しますが、豆乳が苦手な方でも美味しく召し上がると思います。

旬の里いもやきのこがたっぷりと入っていますので、この季節を楽しんでください。



＼ 材料 (4人分) ／

A	鶏モモ肉	1枚
	塩・胡椒	少々
	玉ねぎ	1個
	人参	1/2本
	エリンギ	1パック
	生しいたけ	1パック
	しめじ	1パック
	里いも	4~5個
	バター	10g
	小麦粉	大さじ2 (20g程度)

B	お湯	2カップ
	固体コンソメ	1個 (5g程度)
C	みそ	30g
	豆乳 (無調整)	1カップ

さやいんげん 5本程度

＼ 作り方 ／

- ①鶏モモ肉は皮をはぎ、一口大に切ったら軽く塩・胡椒をする。(A)
- ②玉ねぎはくし形、人参は乱切り、きのこ類はそれぞれ石づきがあれば除き、エリンギ・生しいたけはスライス、しめじは手でほぐす。
- ③いんげんは下茹でし、3cm程度に切る。
- ④里いもは皮をむいて大きめの一口大に切り、竹串が通るぐらいまで下茹でする。
- ⑤お湯にコンソメを溶かし、スープを作る。(B)
- ⑥味噌と豆乳を合わせてよく混ぜ合わせる。(C)
- ⑦煮込み鍋にバターを加え、鶏肉を炒める。鶏肉がほんのり白っぽく変わったら玉ねぎ・人参を加え、全体がなんできたら小麦粉を加えて炒める。
- ⑧(B)のスープを少しずつ加えて、鶏や人参に火をとおす。
- ⑨④で下茹でした里いもと、きのこ類を加える。
- ⑩(C)を加えて、ひと煮する。
- ⑪味を調えたら、いんげんを加えて仕上げ。できあがり!

調理のポイント

- 里いもは崩れないように、大きめの一口大に切っておくと良いです。
- 豆乳と味噌を混ぜ合わせる時は、豆乳は冷たいままでOKです。
- 味噌かすが気になるときは、こしてください。
- 豆乳と味噌を合わせたものを加えてからは、あまり煮立たせないのがコツです。

きのこは、お好きなものを
お好きなだけ入れてください。
鶏肉を鮭にかえても良いですね。
これからますます冷え込みます。
どうぞ温かい夜を
お過ごしください。



白玉杯 秋季ナイター ソフトボール大会



9月10日から12日にかけて白玉杯秋季ナイターソフトボール大会が行われました。今回もB級で参加しました。まずは9チームを2組に分け予選リーグが行われました。打線がつながり6-0、17-7と快勝し決勝トーナメント進出。準決勝はピッチャー2人が頑張り10-0で勝利。決勝戦では息詰まる展開でしたが終盤に勝ち越し3-1で勝利し優勝しました。春の大会と2季連続での優勝となりました。一生懸命プレーする中に笑いもあり楽しく試合をすることができました。また、新入部員も入り活躍をみせていました。今後はA級での参加を目標に頑張っていきたいです。まだまだ新入部員や練習試合の相手を募集していますので声をかけてください。

訃報に接し

ものごとの始まりに立ち会える幸せがあります。

広報紙「みどりの風」は、かつて院内向けに発行していた「病院ニュース」という情報誌を起源とします。

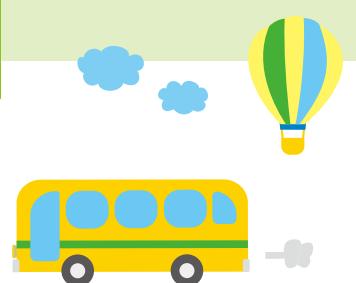
この夏、OB会のお世話役も長年担って下さった初代臨床検査技師長の郷田隆さんが85歳で御逝去されました「病院ニュース」が独り立ちするまで、編集・校正に多くの時間を割いて下さった方です。レコーダーを病院に備えてなかった頃、研修・講演を聞き取り、記録し解説や注釈を追加した原稿を作成、文意を変えない範囲で字数調整し校正する作業を、編集委員で分担・取り換えて行いました。その全作業に加わりながら、同時に身近な話題から世界情勢まで、広いテーマで紙面を飾って下さいました。定年を迎えた後も「はやと通信」で多種多様、とりどりの話題を提供していただきました。

『飄飄』^{ひょうひょう}を実在化すれば郷田さんというような人でした。温和ながら風刺の効いた文章と、校正原稿に残る青いインクの踊るような文字も好きでした。郷田さんを中心に委員全員で話題を探し、表現に悩み、行き詰りながら過ごした得難い時間の記憶です。

誰かの苦労や思いが紙面の隅にも生きていることを、訃報に接し思い出しました。

総務課 審來 涼子

老健施設【みなみかぜ便り】



外来受診に関するお知らせ

完全紹介予約制

当院の外来は「完全紹介予約制」となっております。初診の方は、他の医療機関(かかりつけ医)などからの紹介状が必要となります。また受診の際は、事前に予約をお取りください。

※泌尿器科、整形外科、眼科は「かかりつけ医」がない場合は予約のみで受診できます。

健康チェック&改善相談

どなたでもお気軽にご相談ください

11月16日(土)・12月21日(土)・
1月18日(土)

受付

地域医療室(保健師)

内容

- 血圧測定・体脂肪率測定・血液検査(希望者)
- 管理栄養士、保健師による病気予防と改善のためのアドバイス

費用

- 無料ですが、血液検査を希望の方は血糖150円、脂質(コレステロール、中性脂肪)300円を負担いただきます。

お問い合わせ

地域医療室保健師まで

職員募集

常勤医師【募集診療科】

内科(一般、呼吸器、循環器、消化器、リハビリ) 外科・整形外科・眼科

看護師(正職員・パート・夜勤専従) / 准看護師

看護補助者(正職員) / 介護福祉士(正職員)

薬剤師(正職員・パート) / 栄養士(調理業務)

調理師(正職員) / 社会福祉士(正職員)

医療事務(経験者) / 検体集配係(パート)

診療情報管理士 / 医師事務作業補助

視能訓練士(パート)

詳細については総務課庶務係までご連絡ください

**TEL.0994-22-3111
(内線:1134)**

予約に関する電話受付時間

月～金曜日 午後2時～5時

土曜日 午前9時～12時

病院稼働状況

	8月	4月～8月	月平均
外来患者延数	2,764	13,062	2,612
(1日平均)	9.1	6.8	—
新入院患者数	105	388	77.6
退院患者数	84	376	75.2
月末在院患者数	166	759	151.8
在院患者延数	4,916	23,161	4,632
(1日平均)	158.6	126.6	—
平均在院日数(一般病棟)	14.7	14.2	—

(単位／名)

編集後記

10月になり、涼しい季節となりました。

10月から消費税が10%に引き上げられ、増税前の駆け込みでの買い物をされた方も多いかと思います。

さて今年も残すところ、2ヶ月あまりとなりました。5月より新年号「令和」の時代が始まり、「平成」の時代が終わりを迎えました。新しい時代にワクワクされた方も多いのではないでしょうか?

令和2年も、皆様にわかりやすい病院と地域を結ぶ情報誌「みどりの風」を作成いたしますので、宜しくお願い申し上げます。

シンボルマークについて



地域住民の皆様と地域の医療従事者を、平和と安寧の象徴である二羽の鳩で表し、共に協力しながら空高く飛翔するさまをデザイン。
肝属郡医師会立病院の頭文字をエンドレスイメージでデザインしたKマークは、地域医療の中核病院として地域医療を支え健やかで暮らしがいのある地域づくりを目指して永遠に伸びゆくさまを表しています。